

“コネクト”ルーフ

# “Connect”roof

おおきな屋根が本部港の新たなシンボルとなり  
訪れる人々をやさしく包み込む



## □ さまざまな出来事を創出する4つのつながり

### 1. 沖縄本島北部の玄関口として周辺離島との“つながり”

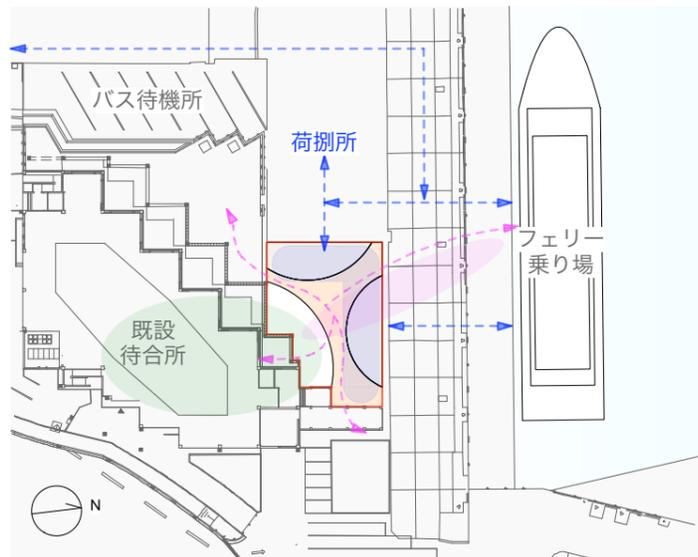
本部港は伊江島をはじめ、奄美群島など沖縄本島への玄関口として周辺離島との“つながり”がある。新たな施設は本部港へ来られた全ての利用者を迎え入れる。



### 2. 行動の“つながり”

計画地には様々な行動で“つながる”場である。

- ・フェリーの乗船を待つ待機場所や荷捌きを行う場所
  - ・修学旅行などの団体利用者の待機場所
- それぞれの行動によって、相互に関係がうまれる場となる。



### 3. 人と人の“つながり”

旅行でおとずれた人と帰る人、出会いと別れなど新たな施設にはいくつもの人と人の“つながり”が起こる場となる。鉄骨の構造体が軽やかな印象をもたせ、木屋根が人と人のつながりをやさしく包み込むあたたかな空間を提供する。



### 4. 周辺環境との“つながり”

本部港の周辺環境を見渡すと前方には「伊江島タッチュー」瀬底島の「台地状の地形」、後方には「八重岳」に囲まれている。周辺環境の風景と“つながり”をもたせた屋根は周りの風景と呼応した形態とする。



